

環境に優しい農法

元来、その土地が持つ自然の力を活用した米作りを行う。そうすることによって、自然への負担も少なくなる。

農業や除草剤の散布などによる環境変化に弱い動植物も生息・生育可能になり、生物多様性が生まれる。

農業者の、持続可能な農業を作り上げていく自負とやりがい。

多様な生きものが暮らす田んぼでとれたお米は、人にも優しい。



豊かな自然環境が育む、



豊かな暮らし

- 一 方五湖は福井県的美浜町と若狭町にまたがる5つの湖を指します。日本海から海水が流入し、上流の地域からは淡水が流入することによって、湖ごとに塩分濃度が異なります。そこには魚類をはじめとして多様な生きものが生息・生育しており、平成17年には、世界的に重要な湿地の1つとして、ラムサール条約の登録湿地に選定されています。



三方五湖自然再生協議会「環境に優しい農法部会」

三方五湖自然再生協議会*は、三方五湖とその周辺地域の自然環境を守ることを目的として設立されました。「環境に優しい農法部会」は、協議会に作られた6つの部会の1つで、この地域の自然環境を守りながら将来に続いていく農業の発展を目指して、活動しています。

*三方五湖自然再生協議会は、自然再生推進法に基づく法定協議会です。

事務局・お問い合わせ先 (福井県海浜自然センター)

〒919-1464 福井県三方上中郡若狭町世久見 18-2

Tel 0770-46-1101



